



NPO法人ぶうしすてむ通信

コスモス

2009年
10月号



特定非営利活動法人「ぶうしすてむ」って何をしているの？

パソコンやインターネットは障がい者にとっても有効なコミュニケーション手段。この数年、パソコンはまさに「パーソナル」になり、誰もが利用できるものになりつつあります。「インターネット」の発達により、これまで難しかった障がい者の自宅「いながらにして」のコミュニケーションを身近なものにしてくれました。「ぶうしすてむ」は、97年にこのような時代背景のもとに生まれた、パソコンによる障がい者の活動と就労を支援するNPO団体です。障がい者がパソコンやインターネットを利用することにより、真のノーマライゼーション社会を実現することを理想としています。

就労関係



8月29日～9月27日まで土日の10日間、フェローシステムにて「セキユリティーと映像Web作成」の講習会を開催しまして、8名の方が受講され、スキルアップしました。

ぶうしすてむ砥部作業場で月曜日～金曜日まで松山高専技術専門学校からの委託事業で行っていた実務研修は、7名の方が受講され、9月9日に無事卒業式を終えることができました。

発掘遺物トレースの仕事が入ってくるようになり、これまでトレースの練習をしてきたメンバーのうち数名が、実際にお仕事として作業を開始しました。造船CADの勉強会を毎週土曜日の午前中に砥部作業場で行っています。文責 紅い八月

これからの研修予定



四国中央 11・12月 中級程度の動画Webの作成。日程は研修内容調整中

八幡浜 実施計画の検討中

久万町 11・12月 月曜日 午後1時から初級者向け。11月5日に久万町で研修の内容について話し合いを行います。詳しく決定しましたらホームページに掲載します。

八幡浜以西(南)

砥部事務所 求職者向け研修CAD・トレース・ビデオ編集・プログラミングなど随時ホームページに計画が具体化され次第掲載します。文責 紅い八月

ああ徒然日記 …… 彼岸花と俳句

八木健さんはNHKの元アナウンサーでご存知の方も多かろうと思います。私どもが編集のお仕事を受けている滑稽俳句の会報がありますが、その主催者で全日空ホテルの向かい側、坂の上の雲ミュージアム・萬翠荘を少し上がった所にある、愚陀仏庵で週1回の句会を催されています。ここ2週の句会で彼岸花の句が何個か出ました。彼岸花はマンジュシャゲ(曼珠沙華)とも呼ばれ年長の人たちは「赤い花なら曼珠沙華 オランダ屋敷に…」の歌をご存知の方も多かろうと思います。歌の中のジャガタラお春は、キリシタン禁止の江戸時代初め混血児の追放令が出て、何百人の子どもたちと一緒に14歳で追われたとか。追放された人からの文が「ジガタラ文」として残っているそうです。明治期にアジアの港街に多くの「からゆきさん」と呼ばれた人たちが居て、長崎五島の人たちが多かったとか。からゆきさんに関しては「サンダカン八番娼館」という本があり映画があるそうです。今は「じゃばゆきさん」と日本に向かう人を呼びます、人は代ってもふるさとを思う人の心は変わらないでしょう。

東北の冷害で天明の飢饉があります。彼岸花の球根は毒を持っているが、水にさらすことにより無毒化され食べられます。作物が取れない時に非常食として利用されたそうです。ただ、飢えた人々がそれらの根を掘り、水にさらす時間が待てず食べて亡くなったと本に書かれています。次回の愚陀仏庵句会ではこれらの言い伝えを句にしたいと思います。

愚陀仏庵は漱石と子規が1ヶ月一緒に暮らしたと言われています。毎週火曜日の午後1時から句会が開かれています。ど素人の私も参加できました。松山には俳人とゆかりのある庚申庵・一草庵と愚陀仏庵をあわせて3庵と言います。萬翠荘では坂の上の雲イベントの一環として、八木さんの企画で私どもが制作したロシア兵の暮らしなどの紹介を上映する予定です。

文責 紅い八月



スタッフ活動情報

今回は私がしている人形劇「劇団ひらおか」の紹介をします。毎年、さまざまな所で公演をし、遠いところでは岡山へも行っていきます。台本・人形・小道具、すべてメンバーの手作りです。人形も1メートルほどの大きさのもので、毎年試行錯誤で改良を重ねています。公演は20分～30分ほど短いものの、練習にはとても時間がかかります。シナリオの細かい部分から動きのひとつひとつに至るまでメンバーで考えながら作ります。今年も9月から公演が始まっています。機会があれば、ぜひ一度ご覧になってください。次回公演予定
日時場所 平成21年10月31日 午後2時開演
愛媛県松山市鷹子町705-2 グループホーム我が家
日時場所 平成21年11月3日 午後2時開演
愛媛県松山市南江戸6丁目1697番地 社会福祉法人 松山隣保館 丸山荘
文責 Fumi

障害者のための

パソコン支援ボランティア募集

現在ぶうしすてむでは、各種講習会の開催及び各種事業運営のほか、障害者(上下肢障害、視覚障害、聴覚障害など)からの依頼で、次のようなボランティア活動を行っています。

- パソコンに関する各種相談(インターネット関連、アプリケーション操作関連)
- パソコンの定期的な学習指導(デジカメ、ワード、エクセル、その他)
- パソコンの単発的な学習指導(同上)
- パソコン不具合修理、設定変更等
- 各種学習会等の講師、アシスタント等
- 各種事業活動の広報用ポスター、チラシ作成等
- 電子基板の半田付けなどの他、参加可能な活動

みなさまのパソコンボランティア活動へのご参加をお待ちしております。ご協力していただける方は下記までご連絡ください。

特定非営利活動法人 ぶうしすてむ 事務局

〒790-0824
愛媛県松山市御幸2丁目1-16
TEL 089-923-5002
FAX 089-927-1557
E-mail staff@busystem.jp
<砥部作業場> 伊予郡砥部町八倉170
TEL 089-989-4400
ホームページ <http://www.busystem.jp/>





「便利な入力支援機器」

今回は左手が不自由なため、右手だけでしかパソコン操作ができない人に便利な入力支援機器の説明をします。

左手が使えなくて一番困るのが、[Shift]キーや[Ctrl]キーを押しながらマウスのボタンをクリックしたりドラッグする操作ではないでしょうか？実はこれらの操作を右手だけでできるマウスがあります。

既に利用されている方もいるとは思いますが、左ボタン・右ボタン・センターホイール以外にマウスの側面(親指側)にボタンが2つ付いているタイプのマウスです。

代表的なものにマイクロソフトの「インテリマウス オプティカル」などがあり、ワイレスタイプのものなども発売されていて、価格も2,000円～10,000円と様々なものがありますので、用途に合わせて購入されると良いと思います。

側面の2つのボタンは、購入した時にはインターネットエクスプローラーでページを移動する時に使う[戻る]と[進む]になっているのですが、マウスに付属しているCDの中に入っている設定ソフトを使用して、[Shift]キーや[Ctrl]キーに変更することができます。

中央のセンターホイールボタンにも[Alt]キーなどを割り当てて、使用することも可能です。マイクロソフト以外にもロジクールなどの他のメーカーからもいろんな種類のマウスが発売されていますので、自分の手に合ったもの、使いやすいものを選ばれると良いでしょう。

最近、ぶうしすてむでもアドビのイラストレーターというソフトを使用している人が増えているのですが、このソフトではスペースキーを押しながらドラッグするという操作があります。しかし残念なことにマウスの側面のボタンにスペースキーを割り当てるということができないのです。

そこで登場するのが「できマウス。」と「ひのきおすいっち」です。「できマウス。」は USB ケーブルでパソコンと接続し、その「できマウス。」に「ひのきおすいっち」などの各種スイッチを接続して使用します。

この「できマウス。」と「ひのきおすいっち」の組み合わせでスペースキーを押しながらドラッグすることが可能となります。設定ソフトで「ひのきおすいっち」が押されている間はスペースキーが押されていることにする設定ができるのです。

このスイッチを足元に置いて、フットスイッチとして利用すると足で踏んでいる間はスペースキーが押されている状態となりますので、右手でドラッグ操作に専念できるわけです。

「できマウス。」も「ひのきおすいっち」も、ぶうしすてむの理事の有志5名で、昨年に設立しました合同会社ぶう工房で取り扱っていますので、興味のある方はお問い合わせ下さい。 文責 ドクターK 合同会社ぶう工房 <http://www.bukoubou.jp/> TEL.089-923-5002

ぶうしすてむではパソコンの設定や不具合が出た場合の対処方法などの技術情報を質疑応答するメーリングリストがあります。今回のことも含めて、うまく出来なかつたりとか何か困ったことや、設定方法などでわからないことがありましたら、きっと詳しい会員の方がアドバイスしてくれると思いますので techML@busystem.jp 宛てにメールを送って下さい。

簡単なことから高度な技術まで、何でも受け付けています。 ※ ご質問がありましたら下記メールアドレスまでご連絡ください。

staffML@busystem.jp
「できマウス」

「ひのきおすいっち」



私は涙を流しながら、私の正面に立っている、少し年上くらいの男性を見た。薄暗くなってきたのは、解らないけれど、アッシュ系の髪の色で、瞳は水色に近いんともいえないブルー。変質者？・・・それだったら危ない。帰らなさい。「信じられないかもしれないけれど、僕は神様からの遣いなんだ。悲しみの涙を回収してやるんだよ。神様は、人間を創り出したけれど、人間に悲しみという感情を与えたことを、後悔してるんだ。深い悲しみを見つけたら、涙狩りの遣い達が涙を回収するために、人間の世界にこうやって・・・」そんなこと言われても、信じる人なんていないよ。妄想の世界に生きてる人なの？「信じられないとは思いうけど、佐々木絵里さん・・・キミの三年半の想いがしきりんだその涙を、僕にくれませんか？」「ごめん、知ってる？まさか、ストーカー？」「家に帰っても、一人で泣くだけだよ。涙狩りされた人間は翌日には辛い気持ちは消え失せる。楽しかった思い出だけが残るんだ。」私は気持ち悪くて、走ってその場から逃げた。公園から家まではすぐそこだったから、思い切り走ればすぐ家に着く。玄關の扉を勢よく開けて、私は二階の自分の部屋の布団の中に潜った。晩御飯を食べる気力もないまま、布団に潜り泣き疲れてそのまま眠ってしまった。夢で、アイツと見たこともない彼女が手を繋いで歩いていくのを見た。朝になり、腫れぼったい目になっているのを鏡で見て、余計に辛くなった。告白しなかつたら、アイツは彼女がいることを、話してくれなかつたのかな。私は最初から、女友達でしかなかったことなのかな・・・「絵里、昨夜晩御飯食べてないんだから、朝はちゃんと食べなさいよ。」お母さんの言葉を背中越しに聞きながら、私は靴を持って玄關で深呼吸をして、学校へ向かった。 つづく

イベント紹介

第51回中国・四国ブロック民俗芸能大会

中国・四国地域に伝承されている優れた民俗芸能を、広く一般の方に公開して、ご鑑賞いただくことにより、民俗芸能に対する理解と認識を深めていただき、地域に息づく無形民俗文化財の保存と伝承を図ることを目的としています。

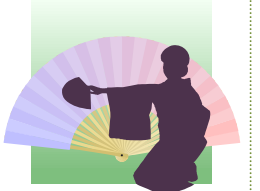
大会の出演団体は10団体で、愛媛県からは、東温市の「牛淵の獅子舞」と宇和島市の「花おどり」が演じられます。

入場料は無料となっておりますので、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

＜開催日＞
平成21年11月8日(日曜日) 12:30～17:30

＜会場＞
ひめぎんホール(県民文化会館)メインホール
(松山市道後町2-5-1)

＜入場料＞無料
※事前の申し込みも不要です。



松山市民吹奏楽団「あおぞらコンサート」

開催日は11/3(火・祝)です。秋のひと時を爽やかな音楽でお楽しみください。

場所 愛媛県美術館前庭
主催者 城山公園オータムフェスティバル実行委員会
主催者連絡先 089-935-2355(愛媛新聞社事業部)

開始終了時間 14:00～14:40
料金 無料
定員 なし
備考 協力:松山市民吹奏楽団, 愛媛県美術館
雨天中止となります。
※事前の申し込みも不要です。



「ぶうしすてむ劇場」

作・森かねえ

「空色の鈴・1」
空が、ピンクが混じったようなオレンジに染まる秋の夕暮れ。近所の公園のブランコでドキドキしながら、携帯で時間を確認してみる。もうすぐ、待ち合わせの時間。今までも、こんな風に待ち合わせしてきたのに、今日は違う。中1でアイツと隣り合わせの席になり友達として仲良くなった。アイツを意識するようになるにはそんなに時間はかからなかった。一番近い女友達というポジションを得ることができて、それはそれで満足していたんだ。でも、中学を卒業して高校は別々になって、少し距離が出来た。それでも、電話したりカフェに行ったりすることがあった。距離を作らないように、努力してきた。「珍しく平日のこんな時間に呼び出して、どうした？」「えっと、あの・・・」「告白っていざとなると、そう簡単なものじゃないんだな、と痛感してみる。三年半も友達として仲良くしてきた。だけど、ずっと片思いっていうのも、友達のままだっていうのも、もう辛くなってきたから。私はブランコから降りてアイツがいる方を向いた。今、言うしかない。」
「あのね、ずっと前から、好きなんだよ。」
アイツの目を見ることができない。何を言われるのか、解らないから。だけど、中学三年間はずっとそばにいた。同じクラスだったし、他の友達と一緒に映画を観に行ったり、遊園地に行ったりした。周りの誰もが、付き合っているんじゃないかって、そう感じていたくらい、仲良くしてきた。
だから、伝えたくなかった。
「ごめん、今、彼女いるんだ。絵里のことは友達としか・・・」
アイツは何か言っていたけど、私は茫然としていてまともに聞くことは出来なかった。自然に涙は溢れてきて、止まりそうもない。
振り返れたらと、告白したことで、もう、前みたいには戻れないんだろうとも思う。解るんだけれど、綺麗には見えない。だんだん薄暗くなっていくのは解る。空の色は涙のせいで綺麗には見えない。だんだん薄暗くなっていくのは解る。暗くなる前に帰らないといけない、そう思いながらもなかなか、ここから動けない。「ねえ、その涙、ちょうだい。」
・・・
「ねえ、その涙、ちょうだい。」

